

# 野村証券がDX戦略の一環として展開する「FINTOS!」の 認証・認可機能にAuth0を採用



**FiNTOS!**  
野村の投資情報アプリ、  
はじまる!

国内有数のリサーチ力を誇る野村の確かな情報で、  
あなたの資産運用（株式投資）を強力にサポートします

## 新たな顧客層を狙ったFINTOS!の提供にあたり、認証・認可機能が必要不可欠に

グローバル金融サービス・グループとして、世界30カ国・地域を超えるグローバル・ネットワークを有する野村グループ。同グループの中心企業である野村證券株式会社（以下、野村証券）は、今、新たなDX戦略を強力に推し進めている。そのキーマンが、野村ホールディングス株式会社 執行役員 未来共創カンパニー長の池田 肇氏だ。

池田氏自らが責任者として2019年4月に立ち上げた未来共創カンパニーは、社内横断組織として新規事業開発を行っているが、そこには池田氏の強い思いがあった。「立ち上げ前の8年間、広報という立場で外部の視点から自社を見てきましたが、お客様にとって金融サービスは、まだ満足のいくものにはなっていないと感じました。そして、課題を解決するための1つの手段としてデジタルが有効と考え、その推進組織を立ち上げたのです」（池田氏）。同氏が掲げた“デジタル・ファイナンシャル・アドバイザー”という考えに基づき、未来共創カンパニーは各種サービスを提供しているが、その中で投資関連情報を提供するのが「FINTOS!」だ。株式投資に有用な情報を厳選配信し、またお客様がウォッチリストに登録すれば、該当銘柄の情報や損益も把握できる。

しかし、同サービスの提供にあたり、新たな顧客層を狙うが故の課題が浮上する。当時を振り返り、池田氏は次のように話す。

**「従来とは異なり、弊社に対して口座開設を行っていないお客様から、取引以外のサービスでお金を頂戴しようと考えた瞬間に、その正確な認知、つまり認証・認可機能が必要不可欠となったのです」**



池田 肇 氏

野村ホールディングス株式会社 執行役員 未来共創カンパニー長

野村証券株式会社 常務 未来共創カンパニー担当

## “投資助言業”に求められる厳格な情報保護に対応できるIDaaSとしてAuth0を選択

こうして認証・認可機能について検討を開始した同社だが、当初はeKYC (electronic Know Your Customer) を実現できる仕組みでさえあれば、特に高度なソリューションの選択は不要と考えていた。しかし、検討を進める中で新たな事実が明らかになる。今回の取り組みにおけるプロジェクトオーナーである、野村証券 経営役 未来共創カンパニー担当 兼 コンテンツ・カンパニー担当の藤井 公房氏は、「当初は単純な情報提供サービスと捉えていましたが、一旦これが証券における“投資助言業”の扱いになると、金融商品取引法の範疇に含まれ、重要な個人情報を確実に保護することが不可欠になったのです」と話す。このような視点からIDaaSの選定を進めた同社では、選定開始から約6ヶ月後の2020年3月、Auth0の採用を決定しその導入を開始した。

**「金融機関として求められる厳格な仕組みが必要になったため、複数のIDaaSを評価しましたが、多くの企業への導入実績、優れたコストパフォーマンス、さらに迅速な立ち上げが可能な点など、圧倒的に優位だったAuth0の採用を決定しました」**



藤井 公房 氏

野村証券株式会社 経営役 未来共創カンパニー担当 兼 コンテンツ・カンパニー担当

## 非常に短期間での認証・認可機能開発や優れたサポートについて高く評価

2021年2月、同社はAndroid版FINTOS!を公開した。Auth0の導入開始からサービス公開まで1年近くを要したが、その期間のほとんどは、投資助言業という位置付けになったことによる、法的な対応のための追加機能開発に費やされたものだった。今回のサービス開発でプロジェクトマネージャーを務めた野村ホールディングス株式会社 ヴァイス・プレジデント グループ・IT推進部 兼 未来共創推進部の金谷 洋平氏は、「通常のSI開発で認証・認可の仕組みを構築していたら、大規模なテストなどを含め多数のプロセスが必要になり、数ヶ月はかかったでしょう。Auth0の場合には、既に必要機能が実装されており、即座に構築することができました。これは非常に大きな導入効果だと感じています」とAuth0を評価する。また、会社としてのAuth0にも触れ、「導入時、そして運用開始後も手厚くサポートして頂きました。そのサービスレベルについて大変満足しています」と話す。

**「認証時のベリファイメールや登録完了メール等の設定、文面の調整などを含めた認証機能の構築もAuth0では即座に対応できました。これは非常に大きな導入効果であり、迅速な立ち上げや更新ができることによるメリットを、今後はお客様にもお返しできると考えています」**



金谷 洋平 氏

野村ホールディングス株式会社 ヴァイス・プレジデント グループ・IT推進部 兼 未来共創推進部  
野村証券株式会社 ヴァイス・プレジデント 未来共創推進部 兼 リテールIT部

## 運用側のアクセスコントロールや他のクラウドサービス接続にもAuth0を活用

付加的な効果も発生している。藤井氏は、「お客様向けの用途だけではなく、今回のシステムの運用に関わるメンバーのアクセスコントロールにおいても、多要素認証の形でAuth0を活用しています」と話す。また金谷氏は、利便性の向上という視点から「これまで規制されていた外部のクラウドサービスの利用が可能になったという点でも、Auth0の導入メリットが発揮されました」と話す。FINTOS!の公開からまだ間もない状況ではあるが、既に野村證券は、当初の狙い以上の導入効果をAuth0によって得ている。

**「弊社のガイドラインでは、不正侵入防止のため外部のクラウドサービスへのアクセスを禁止していました。しかしAuth0でアクセス時に認証を行い、野村のIPからのアクセスのみを許可することによって、これまで利用できなかったクラウドサービスが使えるようになりました」**



金谷 洋平 氏

野村ホールディングス株式会社 ヴァイス・プレジデント グループ・IT推進部 兼 未来共創推進部  
野村證券株式会社 ヴァイス・プレジデント 未来共創推進部 兼 リテールIT部

## 7月末にはiOS対応も開始。FINTOS!を含めたDX戦略をより加速

Auth0導入により多くのメリットを享受した野村證券だが、既に次の展開として、2021年7月には、iOS版FINTOS!の提供を開始。より広範な顧客へとサービスを拡大する。

最後に池田氏は、FINTOS!を含めたそのDX戦略について「24時間365日、スマホアプリを中心としたデバイス上で完結できる、完全デジタル化されたサービスの構築を目指しています。お客様ご自身が、資産を把握・管理し、情報を収集し、アドバイスを受け、取引する、この一連の流れをデジタルで完結することができ、さらにはそれらの行動の中で、コミュニケーションまでスムーズに行うことができれば、『デジタル・ファイナンシャル・アドバイザー』の実現につながっていくと考えています」と強調した。正に今、池田氏の狙ったデジタル戦略加速のための「機は熟した」と言えるだろう。

市場を牽引するグローバル金融サービス・グループとして、果敢な挑戦を続ける野村グループ。そのサービスを支える認証・認可基盤のひとつとして、Auth0は今後も活用され続けるだろう。

**「現在は、デジタル・ファイナンシャル・アドバイザーのパーツとなるサービスを開発している段階で、まずはデジタルでサービスが完結する形を目指します。そしてこのようなシステムと、デジタルによるサポートで研ぎ澄まされた担当者の両者が機能することこそが、デジタルとオフラインの融合だと考えています」**



池田 肇 氏

野村ホールディングス株式会社 執行役員 未来共創カンパニー長  
野村證券株式会社 常務 未来共創カンパニー担当

## Auth0(オースゼロ)について

Auth0は、10,000社以上の導入実績を誇る認証認可プラットフォームを提供しています。複雑で開発者の負荷が高い認証機能の実装をAuth0に任せることで開発者体験(DX)を向上、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。Auth0を使い、80%以上のお客様が安全で拡張性の高い認証システムを1週間以内に実装しています。

ウェブサイト：<https://auth0.com/jp/> お問い合わせ：[auth0-japan@auth0.com](mailto:auth0-japan@auth0.com)